

理事長挨拶



社団法人 大正琴協会理事長 海部俊樹

猛暑の中、平素は会員の皆様には、社団法人大正琴協会の運営に格別なるご理解とお力添え並びに定期演奏会、全国生涯学習フェスティバル合同演奏会等への多くのご参加を賜り厚くお礼申し上げます。

大正琴も誕生してから後5年余りで100年に成ります。この哀愁を帯びた音色が日進月歩改良に改良を重ねられ、今日ではソプラノ・アルト・テナー・ベースの楽器も開発され合奏が可能になりました、これからも多くの人々に愛され親しまれていくことを願う次第です。

昨今、世界各国において地球温暖化に向けて大きな関心が払われて、各国とも防止に向けて様々な取り組みが行われています。

先般ドイツでG8主要国首脳会議が開かれ(いわゆる環境サミット)、地球温暖化防止に向けて2050年には半減する共同声明が発表されたところです。

我が国を見ますと近年地球温暖化対策について、家庭に於いても家電を省エネ性能に優れた製品に買い換えることがCO₂(二酸化炭素)を40パーセント以上削減できると試算しています。

現在地球上は何千年、何百年を経て発生して作られた化石燃料(石油・石炭)をこの200年余りで食いつぶしている状況であり、それに変わるのが原子力発電であります。厳しい段階を迎えています。

燃料利用により排出されるCO₂はEUが日本の1.7倍アメリカ2.1倍中国10.8倍ロシア19.2倍といわれ、わが国は実に高い技術水準であり、最近のハイブリットカーの開発改良は地球環境にやさしい革新的なものであります。

地球温暖化に向けてCO₂削減に向けて家庭で出来ることは何か、考えて見ますとそれは小さな節約、物を大切にすることによるごみの減量化等が考えられます。皆さんの知恵と実行により工夫されて、住みよい環境を守るため、温暖化防止に努力したいものです。

社団法人大正琴協会第29回通常総会議事録

1. 日 時 平成19年6月6日(水)
 開会 午後1時00分
 閉会 午後2時10分

2. 場 所 名古屋市中区錦三丁目11番13号
 名古屋ガーデンパレス

3. 出席状況 会員の総数 4,585名
 出席会員数 3,033名(委任状含む)

4. 議事の概要

(1) 開会

定刻に、司会者の奈須忠信常務理事が挨拶。
 北林豊常務理事が、開会を宣言。

(2) 挨拶

岩間昌一副理事長が挨拶。
 海部俊樹理事長の政策秘書佐々木昭雄氏が
 挨拶。

(3) 議長選出

司会者が、議長選出方法を議場に諮ったところ司会者一任の声あり。よって、岩間昌一副理事長を本総会の議長としたい旨諮ったところ、全員一致をもって選出し、同氏は、これを了承し議長となった。議長は、事務局に出席状況の報告をさせた。議長は、正会員現在数の過半数の出席があったので、本総会が成立した旨を述べた。

(4) 議事録署名人選出

議長が、議事に先立ち議事録署名人名2名の選出について諮ったところ、議長一任の発言があり、全員異議なく賛成したので、議長は、加藤英也名誉会長及び北林篤理事を指名し、これを議場に諮ったところ、全員異議なく承認した。

被選任者らは、いずれもこれを承諾した。

5. 議 事

第1号議案 平成18年度

収支補正予算案承認に関する件

議長が、浅井信人事務局長に本件議案の説明を求めた。

同氏は、予め配布した資料をもとに平成18年度収支補正予算案について詳しく説明した。以上につき議長が、議場に質問、意見を求めた後、その可否を議場に諮ったところ、全員一致をもって原案どおり承認可決した。

第2号議案 平成18年度

事業報告承認に関する件

議長が、平野芳男常務理事に本件議案の説明を求めた。

同氏は、予め配付した資料をもとに事業報告について詳しく説明した。

以上につき議長が、議場に質問、意見を求めた後、その可否を議場に諮ったところ、全員一致をもって原案どおり承認可決した。

第3号議案 平成18年度

収支決算承認に関する件

議長が、浅井信人事務局長に本件議案の説明を求めた。同氏は、予め配布した資料をもとに収支決算について詳しく説明した。また、本収支決算にともない資産の総額が、金4317万3325円から期末正味財産合計額金4613万3132円と変更となる旨を述べた。

引き続きいて監事を代表し、遠島敏行監事が、計算書類及び理事の職務執行状況を綿密に調査したところ、いずれも適正妥当であることを認めた旨を報告した。

以上につき議長が、議場に質問、意見を求めた後、その可否を議場に諮ったところ、全員一致をもって原案どおり承認可決した。

第4号議案 平成19年度

収支補正予算案承認に関する件

議長が、浅井信人事務局長に本件議案の説明を求めた。

同氏は、予め配付した資料をもとに平成19年度収支補正予算案について詳しく説明した。

以上につき議長が、議場に質問、意見を求めた後、その可否を議場に諮ったところ、全員一致をもって原案どおり承認可決した。

8. 閉会

以上をもって、社団法人大正琴協会第29回通常総会の議案の全部を終了したので、議長は、議場にその協力を謝し、降壇した。そして、北林豊常務理事が閉会を宣した。

上記決議を明確にするため、議長及び議事録署名人は次に署名押印する。

平成19年6月6日

社団法人大正琴協会 通常総会

議 長	岩 間 昌 一	印
議事録署名人	加 藤 英 也	印
同	北 林 篤	印

平成18年度収支決算報告書

平成18年4月1日から平成19年3月31日

〔収入の部〕

基本財産運用収入	7,320円
会費・入金収入	40,402,500円
事業収入	
全国生涯学習フェスティバル	142,000円
定期演奏会	
出場料	0円
入場料	3,030,000円
事業収入計	3,172,000円
雑収入	361,498円
出版物収入	2,520円
当期収入合計	43,945,838円
前期繰越収支繰越差額	16,979,466円
収入合計	60,925,304円

〔支出の部〕

事業費	
全国生涯学習フェスティバル	6,149,107円
全国体験学習出展事業	982,742円
イベント助成費	2,500,000円
学校等における大正琴普及事業	65,537円
普及功労者表彰事業	754,703円
協会主催講座・講演会	312,923円
地域講座等助成費	1,500,000円
定期演奏会	11,833,257円
指導者研修会	421,538円
調査研究事業	648,472円
機関紙	578,381円
協会パンフレット	188,360円
ホームページ	175,035円
事業費計	26,110,055円
管理費	
管理費計	14,868,416円
当期支出合計	40,978,471円
当期収支差額	2,967,367円
次期繰越収支差額	19,946,833円

正味財産増減計算書

平成19年3月31日現在

〔収入の部〕		
当期収支差額		2,967,367円
〔減少の部〕		
貯蔵品減少額		7,560円
当期正味財産増加額		2,959,807円
前期繰越正味財産		43,173,325円
期末正味財産合計額		46,133,132円



貸借対照表

〔資産の部〕		
流動資産合計		20,540,210円
固定資産（基本財産合計）		25,000,000円
その他の固定資産		1,033,587円
固定資産合計		26,033,587円
資産合計		46,573,797円
〔負債の部〕		
流動負債合計		440,665円
〔正味財産〕		
正味財産		46,133,132円
（うち当期正味財産増加額）		2,959,807円
負債及び正味財産合計		46,573,797円



第15回定期演奏会終了報告

平成19年2月10日(土)から11日(日)の2日間にわたり「第15回大正琴定期演奏会」をなら100年
会館にて盛大に開催することができました。

天候も良く、奈良県の愛好者は勿論、大阪、滋賀、三重、愛知県から2日間合わせて2,087名の
出場を頂きました。皆様のご協力により御陰さまで、悠久の古都奈良に大正琴の音色を響かせる
ことが出来ました。

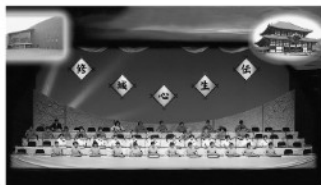
最後に、ご支援、ご協力を頂いた関係者の皆様により感謝申し上げ、無事終了できました事
をご報告致します。

第15回大正琴定期演奏会
実行委員長 岩間 昌一

演奏会風景



琴修会



琴城流



琴生流



琴伝流

大正琴普及事業拡大に向けて

昨年度より実施して参りました、「大正琴普及事業」を本年度より日本財団に資金的な援助をい
ただき、大幅に拡充して実施する事になりました。

再生大正琴の寄贈だけでなく、小中学校の講習費用の補助も行う等、予算的にも大掛かりな公
益事業が可能となりました。次世代に大正琴を普及定着する活動として、今後も継続的に実施し
て参りますから、皆様のご尽力ご協力をよろしくお願い申し上げます。

なお、2008年2月に沖縄県宜野湾市で開催されます、第16回大正琴定期演奏会には本事業の対
象となりました、小中学生のステージを予定しております。



使わなくなった大正琴回収・修理

(学校への大正琴の寄贈および指導活動は平成19年度日本財団の助成事業に認定されました。)

トピックス

今日は「もったいない」という言葉について考えてみたいと思います。

「もったいない」これは古くから言い伝えられてきた、日本人独特の言葉ではないでしょうか？ 今日では世界語として「MOTTAINAI」と成っています。環境・保護活動家でノーベル平和受賞者のケニア人マータイさんは世界中を飛びまわり「MOTTAINAI」運動を行っています。

この頃では「もったいない」という言葉を耳にすることが少なくなりました。それは何故でしょうか、その原因は飽食の時代に現代はあるのでしょうか。古い時代に育った人は食事時一粒の米を落としたとすると、拾って食べることが当たり前と思う人が大半ではなからうか、これが時代の違う若者となると汚いという観点から捨ててしまうのです、その違いは何なのでしょう。

子供の頃、お米は1年かかり出来たんだよ、それを考えたら粗末にできないんだよと教えられた記憶があります。

最後に、例えとして風呂水について考えてみよう。この残った水を洗濯機に再利用する家庭は何軒あるだろうか？ 面倒だ、ホースがない、汚い水はいいという調子で捨てられているのが現状ではなからうか、そこで「もったいない」という発想に返れば資源の無駄づかいが少なくなるのではないのでしょうか。

会員たより

琴城流佐賀有田支部(琴佳風会)
稲田 真子

ソロコンサートを終えて

今年も佐賀有田支部ソロコンサートの開かれました。

私たち会員は日頃は同じ曲をみんなでお稽古していくのですが、ソロコンサートの曲となれば真剣なもので全然違います。

一人一人で弾く緊張を感じると同時に大きな感動を受け取りました。特に習い始めてから日の浅い方が出場するという意気込みに感銘を受け、高齢にも関わらず懐かしい曲を弾きこなし披露される姿には熱心に聞きほれてしまいました。

これほどまでに曲の表現ができる大正琴の素晴らしさを感じると共に明日に向かって練習の課題ができ、私にとって良い刺激となりました。

また、お客様の中にはヘルパーさんに手伝ってもらいながらおいでくださった方をはじめ、町内外のたくさんの方においでいただき、大きなご声援に支えられながら頑張りました。

東京音頭の演奏の時は全員が手拍子で盛り上げ、会場が1つの「和」となったことを実感しました。

音楽は人の心を癒し、慰め、励ましをも与えてくれます。これからも大正琴を友として楽しみ、自らの気持ちを精一杯こめて立派な大正琴演奏ができるよう頑張ります。



平成19年度理事長表彰状受賞おめでとう

社団法人「大正琴協会表彰規定」に基づき、平成19年6月6日に下記の皆さんが受賞されました
(敬称略)

規定第2条3項 当協会の栄誉を高めるにふさわしい功績があった者(1名)

西尾一行 静岡県掛川市駅前

規定第2条4項 指導者として永年にわたり大正琴音楽の指導に尽力した者(51名)

久保昭子	新潟県五泉市泉町	岡田一博	大阪府枚方市牧野下島町
松井真理	大阪府南河内郡太子町	小松律子	埼玉県三郷市戸ヶ崎
松村司	大阪府羽曳野市野々上	西田淑美	名古屋市瑞穂区弥富通
新里梨枝美	沖縄県名護市大北	藤井照美	山口県岩国市周東町
宮里恵美子	沖縄県国頭郡大宜味村津波	森美由起	京都府亀岡市余部町
末信赤根	広島県庄原市東本町	西村美智子	奈良県奈良市北登美ヶ丘
大谷晶子	滋賀県伊香郡西浅井町	河原鈴江	岐阜県土岐市泉町大富
松田ひとみ	埼玉県久喜市栗原	橋本壽子	東京都青梅市千ヶ瀬町
岩井田強美	群馬県みどり市東町	岡田多喜子	広島県尾道市山波町
榊原佐喜子	群馬県邑楽郡板倉町	井坂よし	茨城県ひたちなか市平磯町
大越雅代	東京都小金井市緑町	杉浦房子	愛知県碧南市荒居町
梅津文子	東京都葛飾区西亀有	溝口章一	長野県上伊那郡飯島町
向田奈津子	神奈川県厚木市長谷	伊藤朝子	千葉県船橋市藤原
鈴木昭雄	静岡県高田市祇園町	友井みどり	神奈川県藤沢市長後
芹沢礼子	静岡県御殿場市萩原	神津ことえ	長野県佐久市安原
福井カズ子	静岡県御殿場市中山	小畑スエノ	千葉県船橋市藤原
工藤清子	岐阜県大垣市稲葉北	佐治勝代	愛知県東海市大田町
林よしえ	岐阜県各務原市蘇原大島町	市村ツギヨ	長野県北佐久郡御代田町
都築隆子	愛知県西尾市鶴城町	坂上澄江	広島県安芸高田市甲田町
深谷安子	愛知県西尾市伊藤町	奥迫久美子	広島県呉市焼山政畝
後藤育代	岐阜県各務原市各務おがせ町	大場彩詩	埼玉県鴻巣市広田
山川清子	愛知県津島市中一色町	山本啓子	山口県柳井市古開作
渡辺すや子	神奈川県厚木市下萩野	大西英男	広島市安佐北区三入東
大川章子	神奈川県厚木市下萩野	茅野京子	広島県安芸高田市美土里町
下笠成子	横浜市旭区川島町	中元明美	広島市安佐南区古市
池上玖子	川崎市川崎区大師駅前		

今後の文化活動等スケジュール予定

全国生涯学習フェスティバル大正琴合同演奏会

☆第19回合同演奏会

- 日 程 平成19年11月3日(土)
- 会 場 岡山市市民会館 TEL086-223-2165
〒700-0823 岡山市丸の内2丁目1番1号

☆第20回合同演奏会

- 日 程 平成20年10月11日(土)～10月15日(水)の1日間
- 会 場 福島県内を予定

定期演奏会

☆第16回大正琴定期演奏会

- 日 程 平成20年2月16日(土)～17日(日)
- 会 場 沖縄コンベンションセンター TEL098-898-3000
沖縄県宜野湾市真志喜4丁目3番1号

☆第17回大正琴定期演奏会

- 日 程 平成21年2月を予定
- 会 場 福岡市内

指導者研修会

☆平成19年度

- 日 程 平成20年3月を予定
- 会 場 福岡市内

通常総会

☆第30回通常総会

- 日 程 平成19年12月5日(水)
- 会 場 ホテルフロラシオン青山
東京都港区南青山4-17-58 TEL03-3403-1541

編集後記

今年は全国的に雨量が少なく、水不足が各地で発生していますが、この協会だよりがお届けする頃には解消されることを願うところです。

紙面でも紹介させていただきましたが、かねて申請した日本財団から小中学校に対する大正琴普及事業に助成金を頂きました。

この事業は皆さんから使われなくなった大正琴を回収し再生して、小中学校へ寄贈したり、講師の派遣を行うものであります。併せて来年2月沖縄で開催されます第16回定期演奏会に数チームは招待を予定しています。

これからも社団法人の使命である公益事業に重点を置き、大正琴の振興、普及、次世代への伝承発展に努め、また、生涯学習の振興にも寄与できれば幸いです。